

日南海岸サイクルツーリズム協議会(第7回) 令和3年度 協議会資料

1. 検討経緯について..... P.1
2. 令和3年度企画部会の検討結果について<第1号議案>..... P.4
3. 令和3年度整備部会の検討結果について<第2号議案>..... P.16

令和3年9月

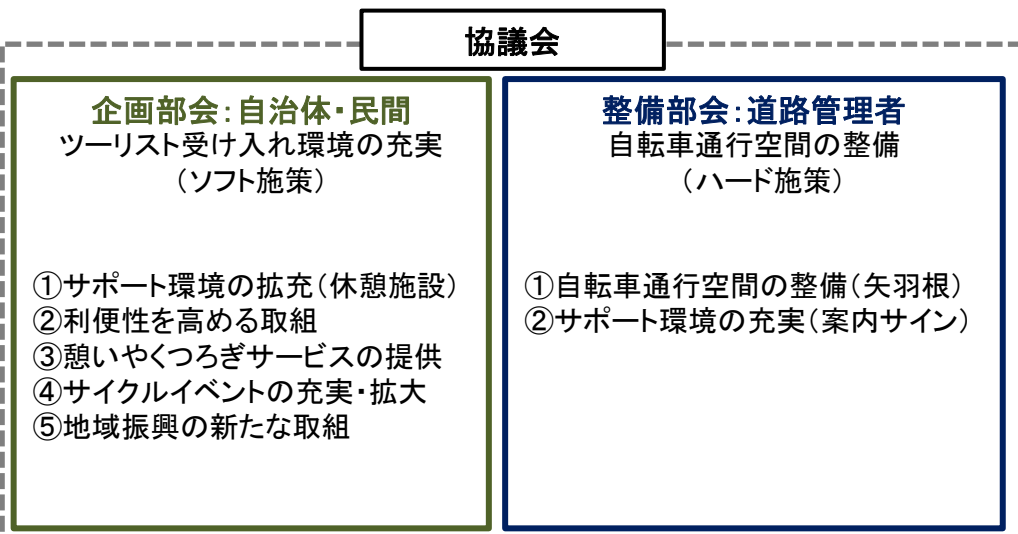
1. 検討経緯について

1. 検討経緯 ～組織構成～

日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とし、『日南海岸サイクルツーリズム協議会』を設立
 (本協議会には、作業部会として**企画部会**、**整備部会**を設立)

イベント企画や施設整備の実施により、自転車愛好家や観光客の増加、自転車の利便性向上、更に地域交流による賑わいの創出を図る

日南海岸サイクルツーリズム協議会の組織構成、取り組みの実施主体



宮崎市、日南市、串間市、宮崎県
 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
 宮崎大学
 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会
 道の駅なんごう、道の駅フェニックス、道の駅くしま
 ひなた自転車協会
 宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会、串間市サイクリング協会
 宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所
 宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光物産協会
 宮崎県警察本部

日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまで

●R3年度迄に協議会を6回、企画部会を9回、整備部会を6回実施し、
 下記内容を議論

企画部会 : サイクリングルート of 検討、アクションプラン of 作成
 整備部会 : 自転車通行空間整備・案内サイン of 考え方
 協議会 : 日南海岸サイクルツーリズム構想(案)

▼これまでの内容について

年度	開催日	協議会内容
H27年度	H27年10月30日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	H28年1月15日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H28年2月1日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H28年2月23日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会
H28年度	H28年11月6日	社会実験(H29年3月30日まで)
	H28年11月22日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H29年1月17日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H29年2月17日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H29年度	H29年3月22日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	H29年12月22日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H30年1月23日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H30年3月26日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会
H30年度	H30年9月21日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H31年1月29日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H31年3月20日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
R1年度	R元年7月8日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	R2年2月25日	第7回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
R2年度	R2年11月16日	第8回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	R2年11月25日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	R2年12月23日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会
R3年度	R3年8月31日	第9回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	R3年9月2日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会

1. 検討経緯 ～日南海岸サイクリングルート～

◎日南海岸サイクリングルートとして、サイクリングルート10ルートを設定し、矢羽根や案内サインによる整備を実施。

◎日南海岸サイクリングルートの自転車マークとして、ヤシの木など南国らしいデザインのマークを設定。

ヤシの木など南国らしいデザインのマークを設定

サイクリングマップや案内サイン(距離標)に活用



▲自転車マーク
(日南海岸サイクリングルート)



青島・堀切峠、日南隧道周辺などで矢羽根・案内サインを整備済



▲日南海岸サイクリングルート(10ルート)

2. 令和3年度企画部会の検討結果について<第1号議案>

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～アクションプラン(案)～ ※赤字はR2年度協議会からの更新箇所

項目	対応方針	これまでの取組 (R2.11末)	具体的な取組 (中期)			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
①日南海岸の実績に応じた自転車 通行空間の整備	- (全10ルート of 総延長約 250km)	試行区間など14kmで整 備済	● 試行区間の整備 ● 整備方針の効果検証	● R4年度までの整備スケジュール 検討	● 宮崎市～日南市間 (約 49km) で自転車通行空間の 優先整備を目指す (矢羽根・ 案内サイン) ※矢羽根は100m間隔での設置 を基本	
	- (沿線に代表的な観光地が多数あ る)	沿線に代表な観光地が 多数ある	-	-	-	
	- (全区間で自転車通行可能)	全区間で自転車通行 が可能	-	-	-	
②サイクリストの ニーズに配慮し たサポート環境 の拡充	休憩施設の充実 (サイクルスタンド、 修理工具等の充 実)	「サイクルステーション」としての必要機 能要件を満たす、サイクルラック・空気 入れの設置施設を増やす ※HP等 情報発信ツールと連携	「サイクルステーション」の 必要機能要件を概ね 満たす箇所：30箇所 (R2.11時点)	● 整備必要位置、整備可 能施設の洗い出し	● 休憩施設の見直し・整理 (サイ クルステーションの必要機能を概 ね満たす箇所を33箇所) ● 空白地帯の一部解消 ● 設置に向け施設への協力依頼 ● 休憩施設候補となる施設の現 状を把握	● サクルステーションの必要機能を 概ね満たす箇所を38箇所確保 (R3.9以降で5箇所拡大) ● 休憩施設の拡大 ● 休憩施設の情報発信方針の検 討
③サイクリストの 利便性を高める 取組の推進	1. サイクルマップ 作成	各種サイクルマップ (紙版、WEBマ ップ) の内容の充実を図る	初版のサイクリングマップ を作成し、各所で配布	● 設置箇所・配付状況・ ホームページ掲載現況の 把握	● 設置箇所の見直し、追加拡充 ● WEBマップのベース作成及び更 新方法の整理	● WEBマップの作成 ● WEBマップの関係機関のHPへの 掲載
	2. 利用者にわ かりやすい情報発 信 (HP等)	ひなたサイクリングみやざきHP等での 情報発信内容の充実を図る ※HP等情報発信ツールと連携	ひなたサイクリングみやざ きHP等で情報発信を 実施	● HPの開設方針を検討 (新規に立ち上げ、もしく はひなた自転車協会HP に追加)	● HP作成、SNS開設に向けた情 報発信方法・内容の検討 ● サイクリング・観光情報の整理	● HP作成、情報発信を実施 (ひ なたサイクリング宮崎HP内) ● SNS開設 ● QRコード活用の検討
	3. 代替交通手 段の推進	代替交通手段の常設化に向けた関 係機関協議や、輸行袋利用のPRを 推進	輸行文化の普及を目 指したモニターツアーを 実施	● 宮崎県に適した移動手 段ニーズ把握 ● 輸行普及イベント開催状 況の把握	● 回送、迂回手段等を含めたニ ーズ調査 (本地域に適した手段 の検討) ● 輸行普及イベントの継続実施	● 導入可能性について調査検討 ● 関係交通機関との協議・ヒアリン グ ● 輸行普及イベントの継続実施
	4. 利用者が立 ち寄りやすい宿泊 施設サービス開始	屋内での自転車預かり・保管等が可 能な宿泊施設の把握・PR、新規対 応施設の開拓 ※HP等情報発信ツールと連携	自転車の屋内保管等 可能な宿泊施設を整 理中 (現時点で13箇 所把握)	● 施設の現状把握・課題 分析 ● 整備候補 (拡充) 地 の選出、可能性調査	● サイクリスト向けのモデル宿泊施 設を8施設抽出 ● 施設への協力要請 ● 可能施設のマップ、HP等への掲 載、導入方法の調査検討	● サイクリングマップの配布などサイク リスト向けのモデル宿泊施設8施 設と連携した情報発信を実施
	5. レンタサイク ルサービス	出発拠点となる施設等におけるレン タサイクルまたはシェアサイクルの整備を 推進 ※HP等情報発信ツールと連携	「ゲートウェイ」候補施設 におけるレンタサイクル等 貸出箇所5箇所	● 機能拡充施設、新規整 備施設候補の洗い出し	● 出発拠点となる施設を5施設抽 出 ● 施設の現状に関するヒアリングを 実施	● レンタサイクルサービスの導入もしく は拡大に適した施設を整理 ● 施設に対する実施可能性に関す るヒアリングを実施

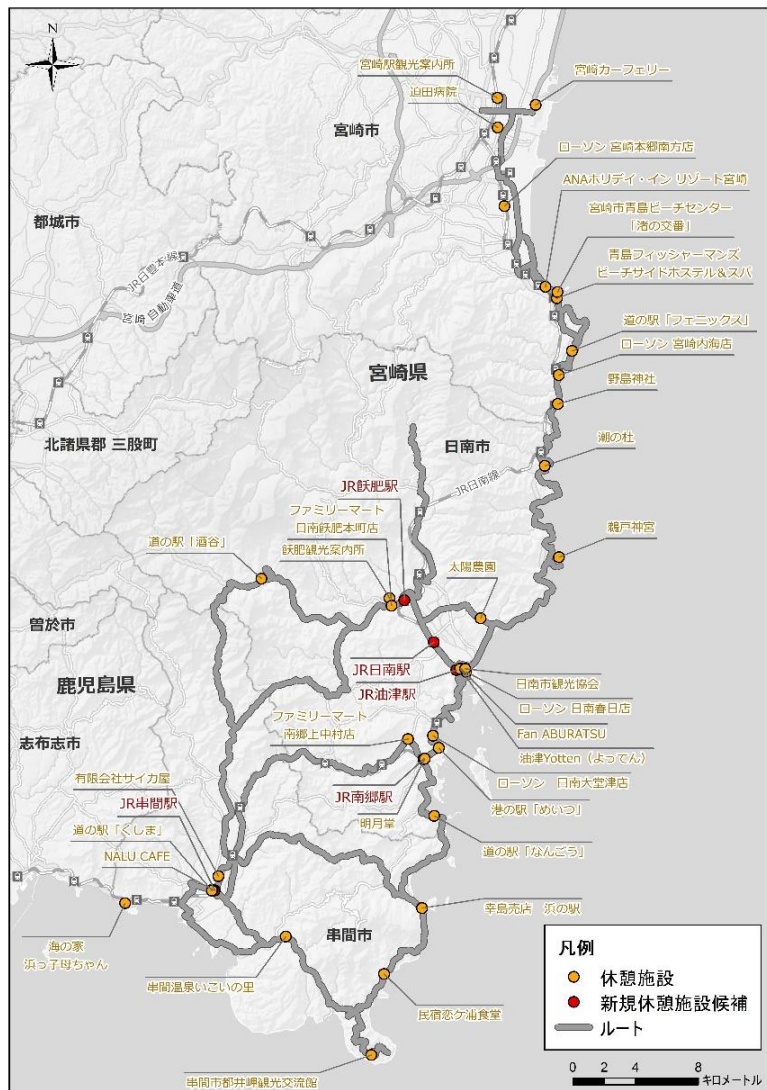
2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～アクションプラン(案)～ ※赤字はR2年度協議会からの更新箇所

項目	対応方針	これまでの取組 (R2.11末現在)	具体的な取組 (短期)	具体的な取組 (中期)		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供	1. 飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供	ひなたサイクリングHP等での情報発信内容の充実を図る ※HP等情報発信ツールと連携	ひなたサイクリングHP等で情報発信を実施	●関係機関・団体等への情報提供およびHP掲載依頼	●HP作成、SNS開設に向けた情報発信方法・内容の検討 ●サイクリング・観光情報の整理	●HP作成、情報発信を実施 (ひなたサイクリング宮崎HP内) ●SNS開設 ●QRコード活用の検討
	2. 道の駅、港の駅等と連携した取組	道の駅、港の駅等において、サイクリスト受入環境充実に向けた施策を検討・実施	沿線の道の駅・港の駅全4箇所で、サイクリステーション必要機能を充足	●物品の品目、値段確認 ●工具貸出、用品販売対応等の可能性調査	●施設への協力要請 ●自転車の販売を実施する施設を4施設抽出 ●自転車用品の調達方法整理	●4施設で自転車用品の試行的な販売を実施
	3. 外国客が宿泊可能な環境の整備推進	ルート沿線での外国客宿泊可能施設および多言語対応ツールの整備を図る ※HP等情報発信ツールと連携	-	●宿泊施設HPの多言語情報調査 ●対応可能な候補地の選定	●マップ、HP等の多言語化検討 ●外国客への情報発信を図る施設として3施設を抽出 ●宿泊施設への協力要請 ●宿泊対応施設のマップ記載	●マップ、HP等の一部多言語化 ●3施設において外国客への多言語による情報発信を実施
⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進	走行会、散走イベント、ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライドなどのサイクルイベントの開催	ルートを活用した小中規模のサイクルイベントの充実を図り、実施頻度の増加と誘客を図る ※HP等情報発信ツールと連携	ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライド、自転車パラダイス宮崎、おはようサイクリング等のサイクルイベントを開催	●地域で開催されているサイクルイベント等の開催状況調査	●既存イベントとの連携・協力依頼 ●イベント企画および開催に向けた関係者協議 ●ツール・ド・南みやざき継続開催	●サイクルロゲイニングなどコロナ禍を考慮したイベントを開催 ※適宜コロナ禍の状況を踏まえたイベントの開催を検討
⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組	1. サイクルツアーガイドの育成・活用	ガイドの継続育成・養成ガイド数の増加、ガイドツアーに向けた調査・検討、ガイド活用・連携体制の構築を図る	サイクルツアーを引率するガイドを養成するための講座を実施	●地域でのガイド数把握 ●講座内容・実施実績調査	●ガイド活用・連携体制の構築	●別途開催されるツアーにガイドを派遣 ●ガイド活用・連携体制の充実
	2. 観光協会との連携企画	観光協会や旅行会社との連携企画を推進する	GoToトラベル事業として、宮崎カーフェリーとの連携企画を実施中	●旅行会社へのPR商材の材料を整理	●旅行会社等へのプロモーション方法検討	●旅行会社等へのプロモーション
	3. 旅行会社とのコラボ企画 (バックツアー企画)					
	4. 地元 (関連団体・店舗・施設等)との連携	地元の関連団体・観光施設・飲食商店街等との連携企画を推進し、地元のPRおよび観光消費額UPを図る ※情報発信ツールと連携	-	●現状の取組調査	●地元との連携企画 (案) の検討	●地元との連携・企画実施にむけた体制づくり ●HP等での地元情報発信

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組②:サイクリストのニーズに配慮したサポート環境の拡充～

- ◎現状:交通結節点である鉄道駅等に休憩機能が整備されていることが求められる。
- ◎R4年度までの取組方針:これまでの県事業のスキームの活用により、空気入れ、サイクルラックを確保し、鉄道駅等に配布する。
- ⇒新規施設(鉄道駅)を5施設追加、機能拡充を1施設で実施し、合計38施設のNCR指定要件を概ね満たす休憩施設が整備される。

■ 休憩施設位置



■ 機能拡大を図る施設、新規候補施設の現状

所在地	施設名 ※赤字は休憩施設候補	受入環境機能			
		トイレ	空気入れ	水分の提供	サイクルラック
日南市	JR飫肥駅	○	×	○	×
	JR油津駅	○	×	○	×
	JR日南駅	○	×	○	×
	JR南郷駅	○	×	○	×
	潮の杜	○	×	○	○
串間市	JR串間駅	○	×	○	○

(参考) NCR制度におけるサイクルステーションの必要な機能

- 【必要な機能】
- ◎トイレが利用できること
 - ◎空気入れの貸出しをしていること
 - ◎水分補給(自動販売機・飲料水の提供)が可能であること
 - ◎休憩スペース・設備(屋根付きのテーブル・椅子)があること
 - ◎サイクルラックが設置されていること
 - ◎必要な情報(ルートマップ、宿泊施設、休憩施設、見所、食事、緊急サポート)が入手可能なこと

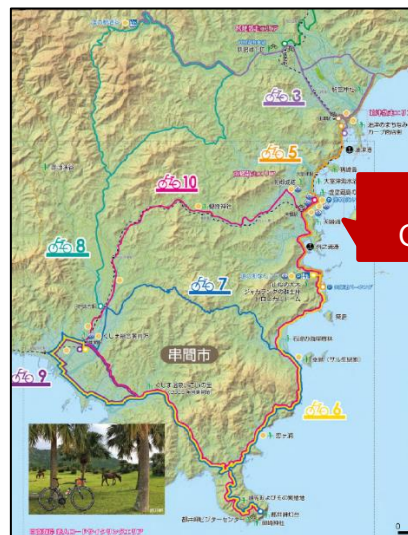
出典) 国土交通省

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組③-1:サイクルマップ作成～

- ◎現状:WEB上で利用できる出発拠点や休憩施設等が掲載されているマップの作成が求められる。
- ◎ R4年度までの取組方針:出発拠点や休憩施設等をWEB上で確認できるマップを作成し、関係機関と連携した展開方法・更新方法を検討する。

■ WEBマップの作成

使用するソフトウェア	Googleマイマップ (以下、Googleマップ)
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日南海岸サイクリングマップのサイクリングルートを実線として示す ・休憩施設や宿泊施設をポイントとして示す ・英語版の活用も想定



サイクリングルート Googleマップにします

■ WEBマップの掲載内容

凡例	Googleマップ掲載情報
サイクリングルート	・日南海岸サイクリングマップの10エリアのサイクリングルート
出発拠点	・日南海岸サイクルツーリズム協議会で設定する出発拠点
休憩施設	・日南海岸サイクルツーリズム協議会で設定する休憩拠点
宿泊施設	・モデル宿泊施設に設定した施設で情報発信にご協力いただける施設
自転車用品販売施設	・令和4年度に自転車用品の販売を開始する施設



各施設が有している受入環境機能が分かるように発信

※各施設が有しているサービスが分かるように情報を発信する

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組③-2、④-1:情報発信～

◎現状:協議会として情報発信プラットフォームを持つことが求められる。

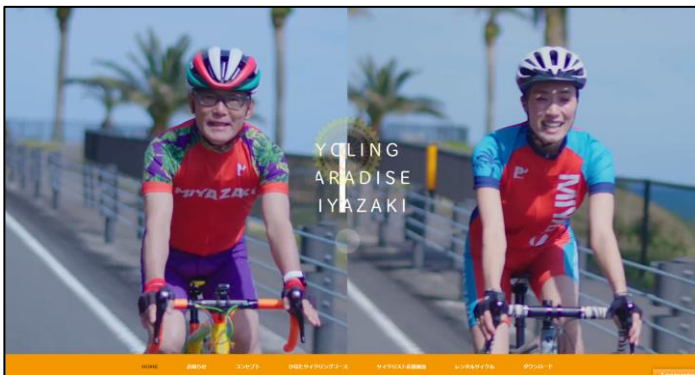
◎ R4年度までの取組方針:ひなたサイクリングみやざきHPの中で協議会情報を発信する他、協議会として新たにSNSを開設し、サイクルイベントや講演会の開催情報などを発信する。【HP作成費用は、協議会において負担】

■ 情報発信媒体別の発信内容

◎:必須 ○:補完的に発信

今後協議会として発信する情報内容(案)	ひなたサイクリング宮崎HPによる情報発信	SNS (Facebook) による情報発信
サイクリングルートWEBマップ (出発拠点、休憩施設)	◎	○ HP掲載時には発信
宿泊施設の情報	◎	
飲食店、温泉施設等※アクションプラン④-1	◎	
自転車用品(チューブ等)販売施設	◎	
代替交通手段の情報	◎	
サイクルツーリズムの取組状況	◎	
サイクルイベントの情報	○: 詳細情報を記載	◎
講演会などの情報	○: 詳細情報を記載	◎
交通状況(道路の閉鎖など)	○: 詳細情報を記載	◎

(参考) ひなたサイクリングみやざきHP



(参考) ひなた自転車協会Facebook



SNSの情報発信の際は、フォロワーの多いひなた自転車協会にシェアしてもらうなど、周知を図る

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組③-4、④-3:宿泊施設の整備～

- ◎現状:サイクリストが立ち寄りやすい宿泊施設のPRが求められる。
- ◎ R4年度までの取組方針:サイクリスト向けの宿泊施設(モデル宿泊施設(案))8施設をWEBマップで情報発信するとともに、サイクリングマップを配布するなど施設と連携した情報発信を行う。また、3施設では多言語化による情報発信を行う。

■ 受入環境機能を考慮したモデル宿泊施設(案)の抽出

- ① サイクリングルート沿線にある宿泊施設が有する、サイクリスト向けの受入環境機能を把握するためのアンケート調査を実施
- ② ナショナルサイクルルート制度における宿泊施設の要件を参考に、サイクリスト向けの十分な受入環境機能を有する施設をモデル宿泊施設(案)として抽出

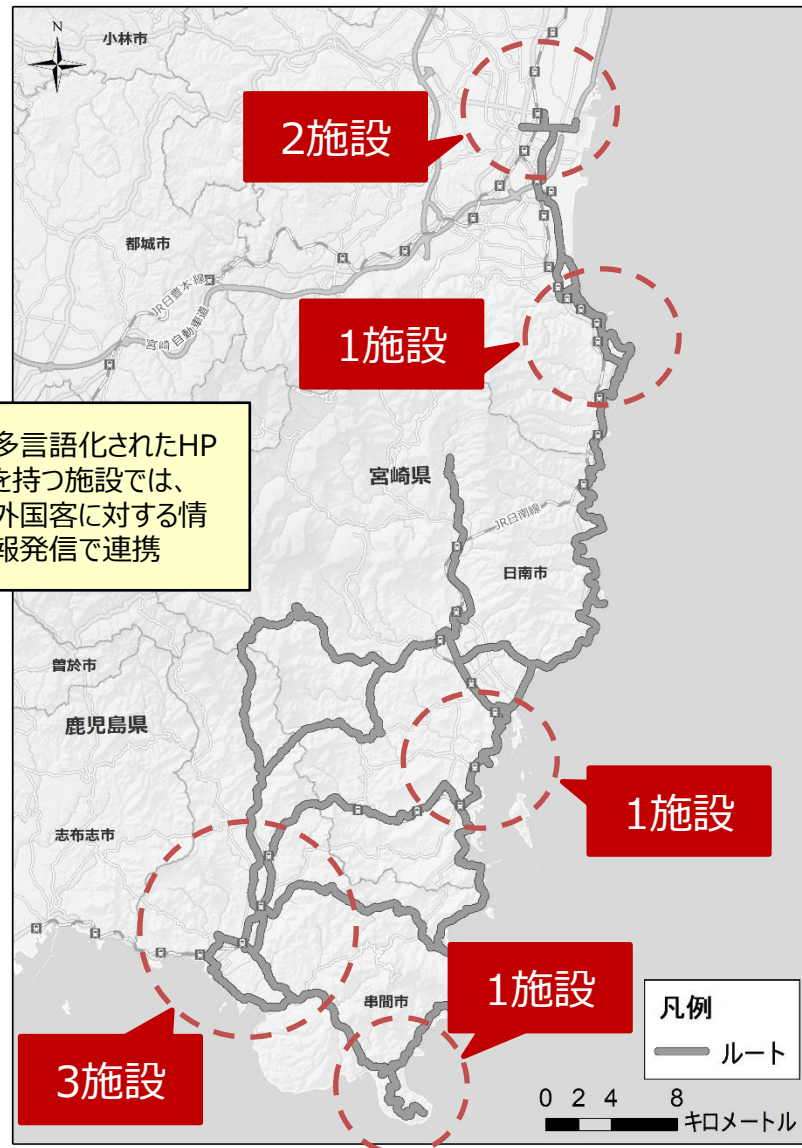
施設位置	モデル宿泊施設(案)の施設数	HPの外国語対応
宮崎市	3施設	3施設とも対応
日南市	1施設	未対応※HP未所有
串間市	4施設	未対応※HP未所有

多言語化されたHPを持つ施設では、外国客に対する情報発信で連携

HPを所有しない施設においても、協力依頼を継続

■ 参考: NCR指定要件 (国土交通省)

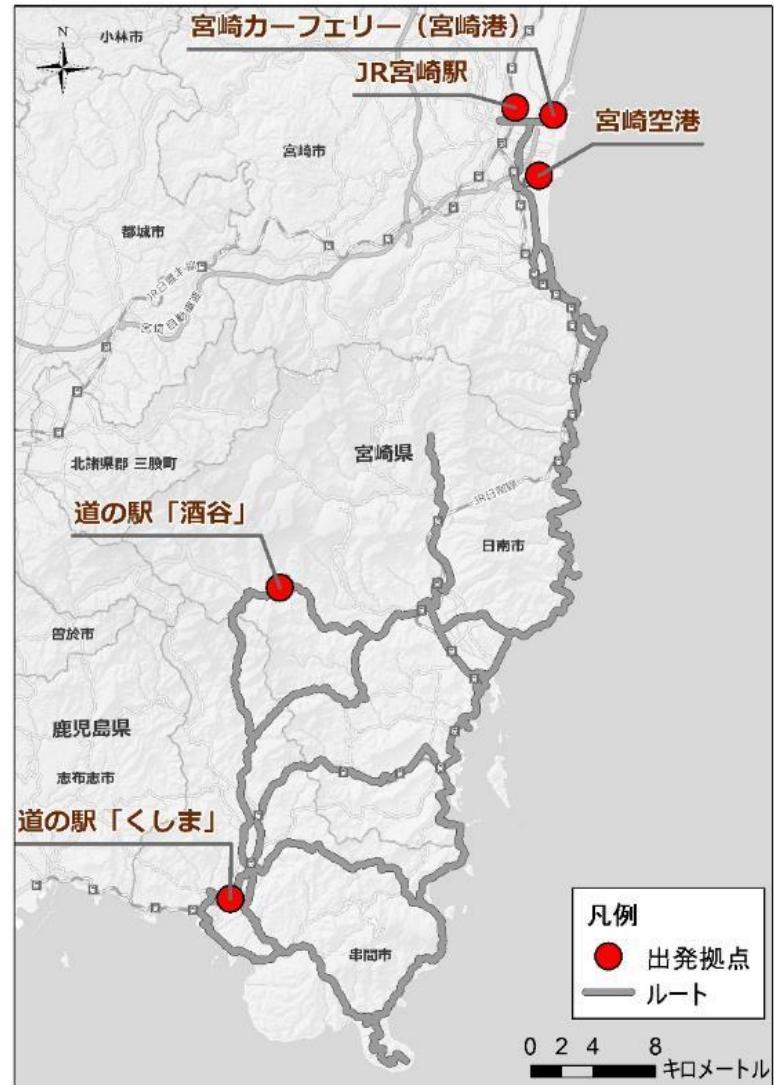
評価項目	評価基準
サイクリスト向けの宿泊施設	<p>◎ルート直近にサイクリストが必要とする機能を備えた宿泊施設が概ね60kmごとにあること。</p> <p>【必要な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎室内(フロント、ロビー、客室等)で自転車の預かり・保管が可能であること ◎フロント等にて荷物の保管が可能であること ◎洗濯が可能であること <p>【推奨する機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宅配の受け取りが可能であること ○洗車施設があること ○日帰り利用も可能なシャワー設備があること



2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組③-5:レンタサイクルサービス～

- ◎現状:サイクリストの出発拠点として設定する施設等において、レンタサイクル等のサービスの展開が求められる。
- ◎ R4年度までの取組方針:出発拠点施設等において、レンタサイクルの導入もしくは既存サービスの拡大に適した施設を抽出し、実現可能性についてヒアリングを実施することを検討する。

■ 出発拠点施設の設定



■ ナショナルサイクルルート制度 (NCR) 要件に対する 出発拠点施設の受入環境機能の現状

出発拠点施設に対して意見照会を実施し、現時点の受入環境機能を整理。

施設名	必要機能					
	レンタサイ クル・シェアサイ クル	情報入手 (マップ、宿 泊施設、食 事、見所、緊 急サポート 等)	物品購入 (タイヤ チューブ、パー ツ、携行食 等)	手荷物用ロッ カー	着替え スペース	工具 (空気 入れ等)
宮崎駅	○	○	×	○	×	○
宮崎空港	×	○	×	○	×	○
宮崎港	×	○	×	○	×	○
道の駅酒谷	×	○	×	×	×	○
道の駅くしま	×	○	○(一部)	○	×	○

今後レンタサイクルサービスの展開が望まれる

今後は、出発拠点等の施設において、**レンタサイクルの導入に適した施設を抽出**し、抽出した施設に対して**実現可能性についてヒアリング**を実施することを検討。

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組④-2:道の駅、港の駅等と連携した取組～

- ◎現状:道の駅、港の駅で十分なサイクリストの受け入れ環境を整備していくことが求められる。
- ◎ R4年度までの取組方針:道の駅、港の駅である4施設において、試行的に自転車用品を販売する。【自転車用品費用は、協議会において負担】

■ 道の駅、港の駅における自転車用品販売の試行

目的	道の駅、港の駅における受け入れ環境の充実を目指し、試行的に自転車用品を販売し、サイクリストのニーズを把握する
自転車用品を販売する施設	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅酒谷 道の駅くしま 道の駅なんごう 港の駅めいづ
販売項目	<ul style="list-style-type: none"> チューブ (700×20-25) タイヤレバー2本セット 携帯空気入れ

▼チューブ



▼タイヤレバー



▼携帯空気入れ



出典) GIANTのHP

【事例】淡路島のコンビニ



各施設の陳列イメージ



出典) 事務局撮影

【事例】とるば駐車場を活用した社会実験 (H28)

自動販売機

自転車タイヤチューブ販売!

活動PR販売促進

この自動販売機の収益は日南海岸の景観維持活動に活用されます

※イメージ

社会実験実施中 H28.11.6 ~ H29.3.19

日南海岸サイクルツーリズム協議会

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組⑤: サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進～

- ◎現状: 地域で開催されている小中規模のイベントを充実させていくことが求められる。
- ◎ R4年度までの取組方針: サイクルロゲイニングなどコロナ禍を考慮した小中規模のイベントを中心に継続開催を図る。

■ 現状取り組まれているサイクルイベント

イベント名	実施機関
ツール・ド・南みやざき	ツール・ド・南みやざき実行委員会
GREAT EARTH	(株) 地域活性化プロジェクトグレートアース事務局
ひなたサイクルロゲイニング	ひなた自転車協会
月例サイクリング	ひなた自転車協会
おはようサイクリング	日南市サイクリング協会

▼ひなたサイクルロゲイニング

初級者から中級者楽しめるイベント
第2回 ひなたサイクルロゲイニング in 宮崎

開催日: 2019年11月23日(土・祝日) 開催
@宮崎府

申込期間: 2019年8月12日(月)～
2019年11月11日(月)

開催場所: 宮崎県宮崎市住吉東町下野田2940-32
広津地区交流センター(スタート&ゴール地点)
宮崎市、西都市ならびに鹿野郡新富町の周辺(予定)

公式サイト:
<https://miyazaki-cycling.webnode.jp>

本大会は、サイクリストの一大交遊の場として、また観光の促進とサイクリングの普及、並びに地域の活性化に貢献することを目的とし、決められたポイント地点として設定された、地域の歴史と文化に彩られた風景や店舗等の一般施設を、写真を取りながらめぐる、オリエンテーリング形式のイベントを開催する運びとなりました。

九州初の開催となった昨年より、より楽しめる内容にグレードアップして、初級者から中級者楽しめるイベントにしていきたいと思っております。この機会に、これからサイクリングを始めたい、車で送りという皆様、お申し込みをお待ちしています。

出典) スポーツエントリーHP

▼ツール・ド・南みやざき

出典) 串間市サイクリング協会HP

▼おはようサイクリング

第43回日南市おはようサイクリング大会スタート

日南市で40年以上にもわたり、開催されてきた「第43回 おはようサイクリング大会(日南市サイクリング協会主催)」がこしも7/26にスタートしました。

曇天模様の中、小学生から年配者まで60名参加、日南市、串間市、都城市、遠くは志布志市からも参加があったそうです。

暑休みということで子どもさんちもたくさん参加されました。

出典) ひなた自転車協会HP

▼月例サイクリング

2021年度月例サイクリング実施について

2021年03月21日 22:05

来年度から毎月第2日曜日に、月例サイクリングを開始します。

1. 本会会員以外の一般の方もご参加いただけます。但し、有効な自転車保険加入者のみ(4月から県条例で保険加入が義務化されます。)
2. 参加費: 無料 飲み物等はご持参ください。
3. 参加定員: 20名
4. 内 容: 自転車の乗り方や楽しみ方等

お申し込みはこちらから お電話でもどうぞ 090-2451-6895 (岩切)

- 4月11日 (月例サイクリング) 宮崎市 集合: 10:00 ミササギポートパーク 塩津場 実施済み
- 5月 9日 (月例サイクリング) 日向市 集合場所・日時: 10時 日向市駅まちの駅とみたか前 おクルマの方は東辺の有料駐車場をご利用ください。コースはこちら
- コロナ感染防止の観点から6/13日に延期とします。
- 6月13日 (月例サイクリング) 日南市 (5/9からのスライド)
- 7月11日 (月例サイクリング) 延岡市
- 8月 8日 (月例サイクリング) 東諸県郡(綾町)
- 9月12日 (月例サイクリング) 東臼杵郡
- 10月10日 (月例サイクリング) 都城市
- 11月14日 (月例サイクリング) 串間市
- 12月12日 (月例サイクリング) 日南市
- 1月 9日 (月例サイクリング) 小林市
- 2月13日 (月例サイクリング) 西都市
- 3月13日 (月例サイクリング) 児湯郡

出典) ひなた自転車協会HP

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～取組⑥-1:サイクルツアーガイドの育成・活用～

- ◎現状:これまで宮崎県の事業によって養成された地元のサイクルツアーガイドの活用が求められる。
- ◎ R4年度までの取組方針:これまで養成された地元のサイクルツアーガイドを別途開催されるツアーに派遣する。

■ これまでの宮崎県の事業に置いて実施されたガイドの取組実績

▼ 養成講座実績※日南海岸で実施

これまでの取組概要	サイクルツアーを引率するガイドを育成するため、救急救護や安全走行方法等のツアー催行に係るスキルを習得する講座を行い、受講後はガイド養成講座受講生によるサイクルツアーの企画及びガイドの実践、ならびに改善点や課題の洗い出し、ツアーの磨き上げとガイドのスキルアップに繋げる取組が実施された。
取組主体	ひなた自転車協会 ※講座は外部委託により実施
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H29～R2年度までに講座を全県で26回実施 ・うち日南海岸地域では9回実施 ・上記講座で延べ74名受講
現在の状況	現在 ひなたライダーとして20人が登録 されており、今後ガイドの派遣システムを構築予定

時期	受講者数
H29. 11. 23	9名
R1. 12. 7	5名
R2. 2. 1～2	9名
R2. 2. 9	21名
R2. 3. 14	6名
R2. 10. 4	5名
R3. 2. 19	4名
R3. 2. 28	6名
R3. 3. 13	9名

合計 9回/74名

▼ 養成講座開催の様子



出典) 宮崎県提供資料

出典) 宮崎県提供資料

2. 令和3年度企画部会での検討結果 ～今後の更なるサイクルツーリズム推進にあたって～

主な課題項目	課題内容	対応方針
休憩施設等の情報発信	休憩施設などでは、施設毎で有する機能が異なる場合や最新の情報でない場合があり、利用者が誤解する可能性。	サイクリスト利便性向上のため、企画部会において休憩施設などの施設が有する情報の一元管理を実施することを検討。
利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス	令和4年度時点では先行事例として8施設を選定。今後、更に対象施設を増やす取組が必要。	先行事例での検証実施と、継続した宿泊施設への協力依頼、対象施設増への働きかけを実施。
利用者にわかりやすい情報発信（HP等）	協議会として情報発信するHP・SNSの効果的な運用・活用、内容充実を図る必要がある。	全国の先行事例における情報発信を参考にし、協議会としてのHP・SNSの運用・活用方針を確立。サイクリストのニーズを考慮し、計画的に内容の充実を図ることを検討。

3. 令和3年度整備部会の検討結果について<第2号議案>

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～R3年度実施内容とR4年度以降の方針～

部会	R3年度実施内容とR4年度以降の方針
整備部会	<p>【R3年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none">●R4年度の東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)開通予定を踏まえ、並行区間である宮崎市～日南市(風田交差点)について、R4年度までの優先整備を目的とした整備計画を立案。●トンネル並行区間(日南富士トンネル、宮浦トンネル等)について、空間再構築(1車線化)による自転車通行空間の確認。●伊比井潮風トンネル並行区間(R3.3整備済)を対象とした効果検証を行い、矢羽根設置間隔(100m間隔)の妥当性を確認したうえで、整備内容(矢羽根・案内サイン等の設置方針等)を検討。 <p>【R4年度以降の方針】</p> <ul style="list-style-type: none">●整備方針に基づき、自転車通行空間及びルート案内サインの整備を進める。●「九州・山口一周ルート」の整備方針を確認のうえ、ナショナルサイクルルート登録(NCR登録)を見据えた調整を適宜実施(必要に応じて整備)。

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～R4年度までの整備計画～

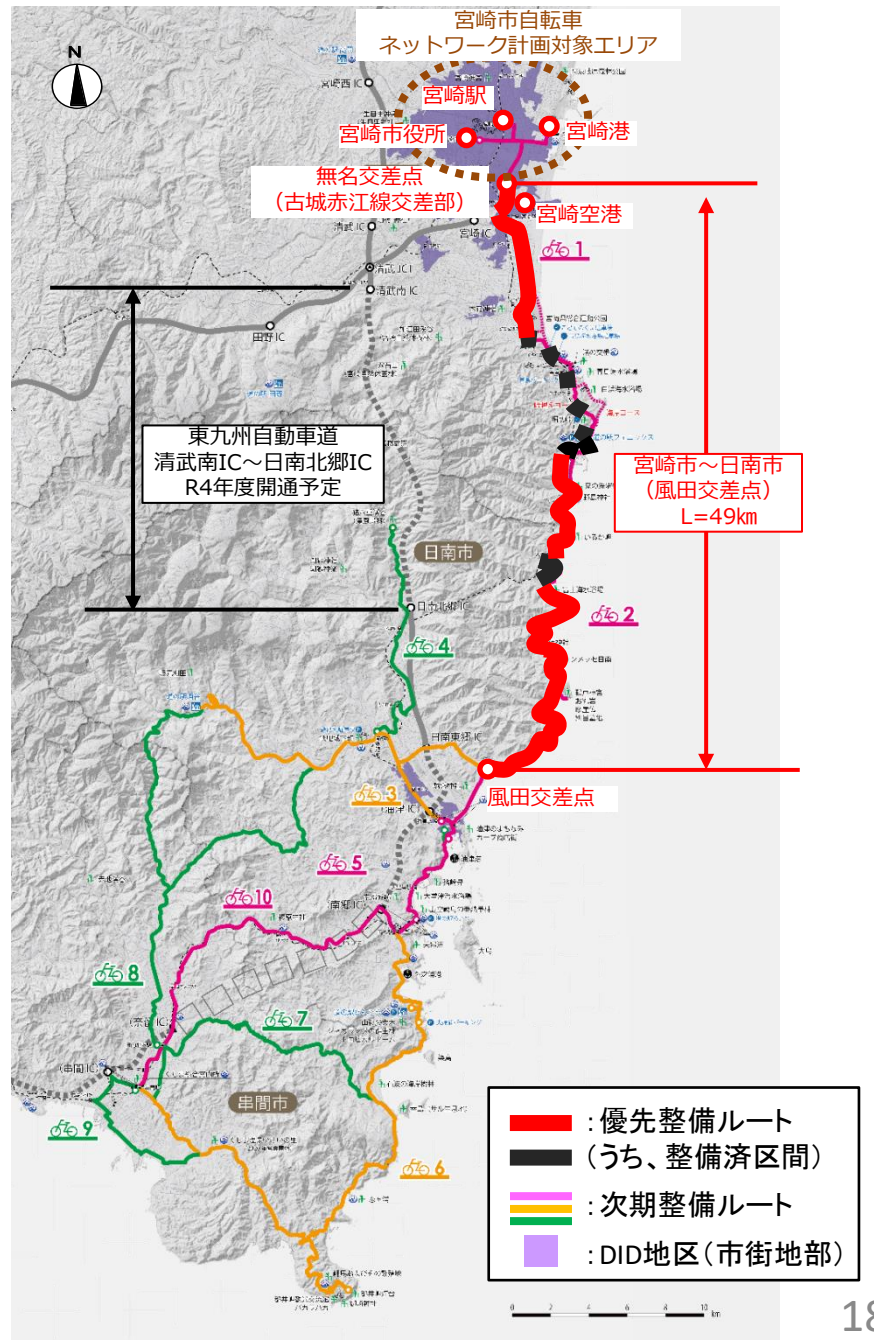
- ◎地域の基軸となる国道220号を中心に、各地域へのアクセス路線と一体となったルートを整備。
 - ◎特に、R4年度※の東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)開通が予定される中、東九州自動車道に並行する宮崎市～日南市(風田交差点)については、R4年度までの優先整備を目指す。
- ※芳ノ元トンネルが順調に進捗した場合

▼自転車通行空間の整備状況(R3.9)

(優先整備ルート(宮崎市～日南市(風田交差点)):約49kmを対象)

	国	県	宮崎市	日南市	串間市	合計
整備済(km)	1	8	1	2	0	12
未整備(km)	25	4	2	6	0	37
合計(km)	26	12	3	8	0	49

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある



3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～整備方針～

◎今後、ナショナルサイクルルート(NCR)登録を目指す可能性があることから、NCR指定要件を参考とした以下の整備方針に基づき、自転車通行空間の整備を実施。

■都市部(DID地区)
○自転車ネットワーク計画あり

民地側

歩道 自転車レーン

歩道 車道

自転車ネットワーク計画に基づき、自転車レーン・矢羽根等での整備を実施

歩道 自転車レーン

歩道 車道

※出典：宮崎市自転車活用推進計画(R2.3)

○自転車ネットワーク計画なし

100m間隔で矢羽根を設置

100m

100m

0.75m

■郊外部(DID地区以外)
○計画(現況・将来)交通量1万台/日以上

車道狭幅員化や側溝差し替えなどにより、路肩部1.0m以上の空間を確保し、100m間隔で矢羽根を設置

民地側

自転車歩行者道路 路肩

3.0m 0.5m

車道

3.5m × 2車線

路肩

1.0m

車道

3.25m × 2車線

○計画(現況・将来)交通量1万台/日未満

100m間隔で矢羽根を設置 (トンネル並行かつ交通量が少ない区間では設置間隔を緩和：200m間隔)

100m

100m

0.75m

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～整備状況～

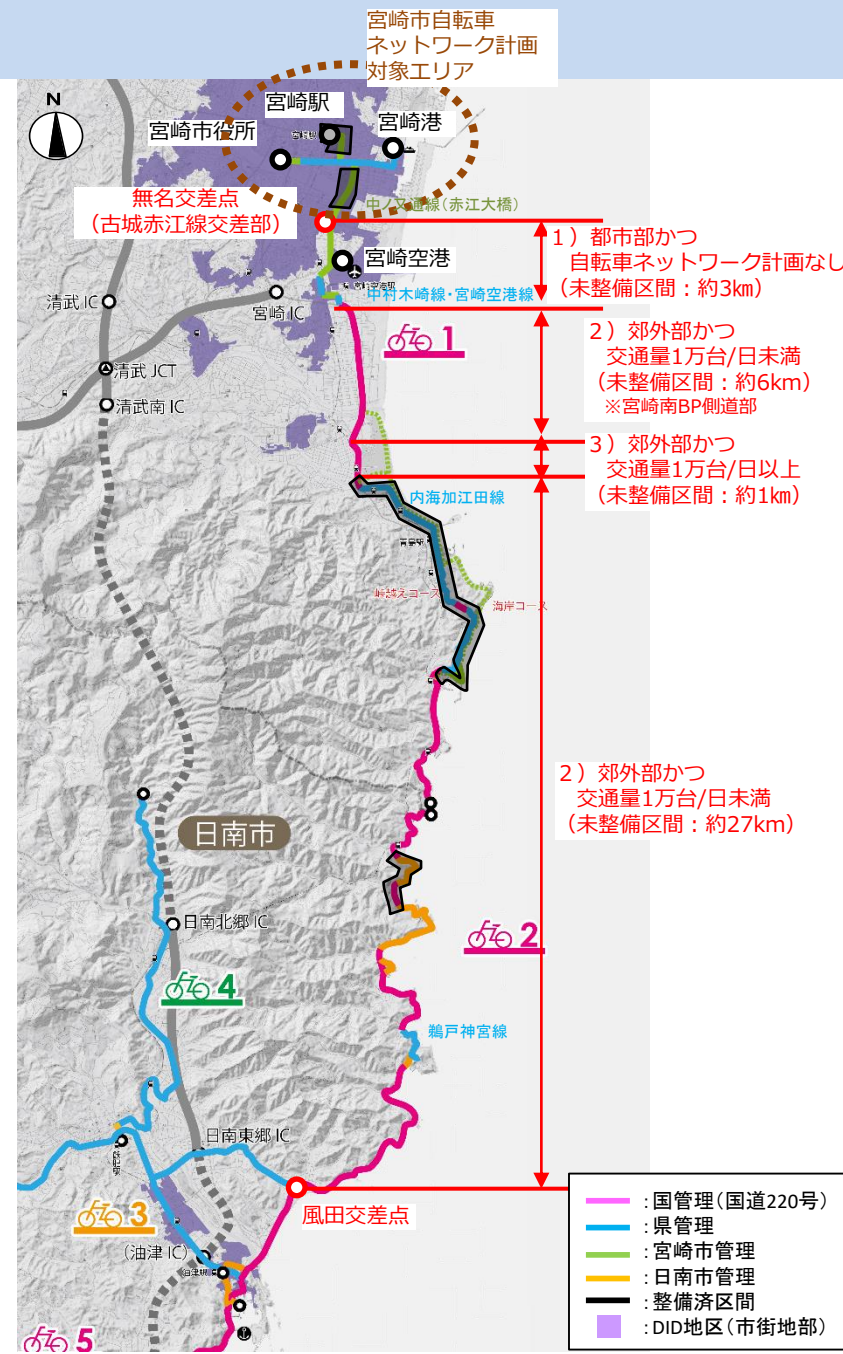
◎宮崎市～日南市(風田交差点)の未整備区間(約37km)について、R4年度までに各管理者での優先整備を目指す。

▼未整備区間の延長内訳(R3.9)

(優先整備ルート(宮崎市～日南市)の未整備区間37kmを対象)

箇所	整備方針	未整備区間の延長(km)					
		国	県	宮崎市	日南市	串間市	合計
1) 都市部 かつ自転車 ネットワーク 計画なし	100m間隔 での矢羽根 設置(トンネル 並行区間 では100～ 200m間隔)	0	1	2	0	0	3
2) 郊外部 かつ交通量 1万台/日 未満	路肩部に 1.0m以上の 空間を確保 し、100m間 隔での矢羽 根設置	24	3	0	6	0	32
3) 郊外部 かつ交通量 1万台/日 以上		1	0	0	0	0	1
合計		25	4	2	6	0	37

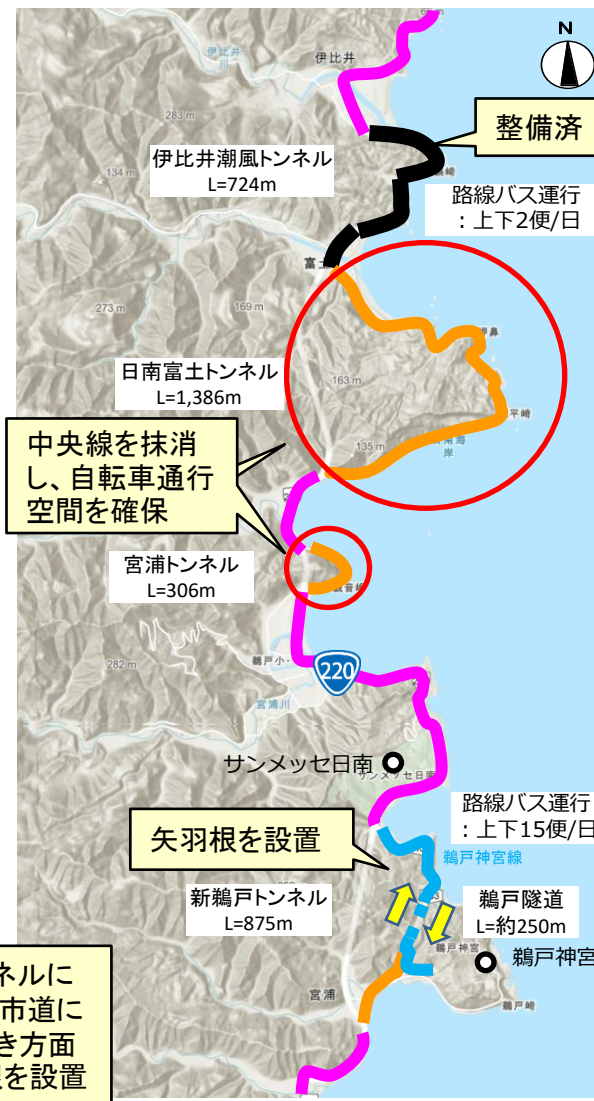
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある



▲整備状況(道路管理者別)

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ~トンネル並行区間の整備~

- ◎トンネル並行区間のなかで、主要な道路の交差や路線バス運行がなく、交通量が少ない日南富士トンネル・宮浦トンネル並行区間については、空間再構築(1車線化)のうえ、矢羽根を設置。
- ◎その他並行区間は、矢羽根を設置。



※原則100m間隔だが、交差道路も少ない単路区間のため、トンネル並行区間は200m間隔でも可とする

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～日南富士トンネル並行区間(空間再構築)～

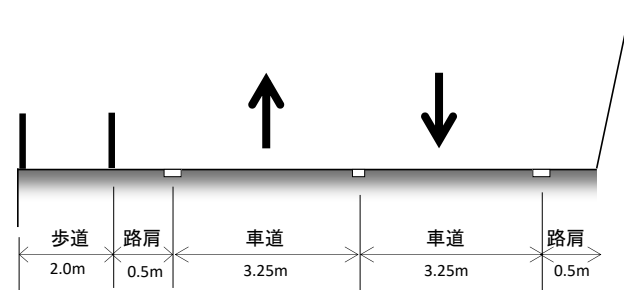
◎日南富士トンネル並行区間については、主要な道路の交差やバス路線がなく、交通量も少ないため、空間再構築(1車線化)により自転車通行空間を確保するとともに、200m間隔で矢羽根を設置。

◎災害復旧工事完了(R4年度末予定)後に、整備を実施。(通行止め中は、トンネル内を案内)

■日南富士トンネル並行区間



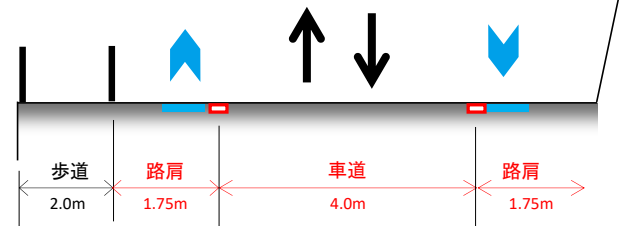
■現状



交通量に応じた道路構造 (1車線化: 車道の狭幅員化)



■改良案(1車線化)



※3種5級(500台/日未満)の車道幅員4.0mを採用

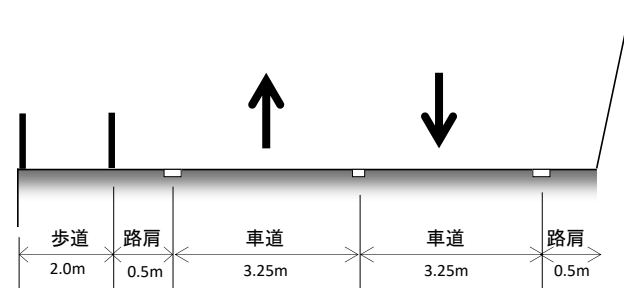
3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～宮浦トンネル並行区間(空間再構築)～

◎宮浦トンネル並行区間については、主要な道路の交差やバス路線がなく、交通量も少ないため、空間再構築(1車線化)により自転車通行空間を確保するとともに、200m間隔で矢羽根を設置。

■宮浦トンネル並行区間



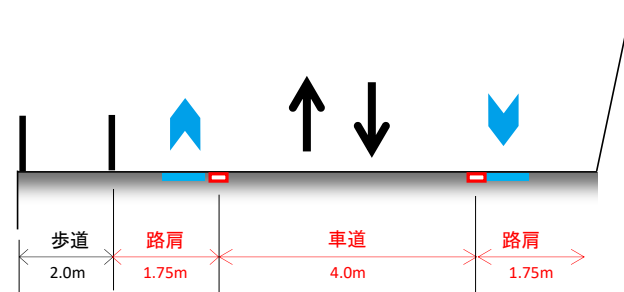
■現状



交通量に応じた道路構造
(1車線化：車道の狭幅員化)



■改良案(1車線化)

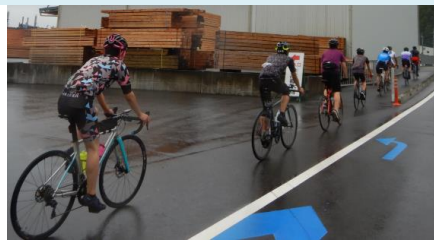


※3種5級(500台/日未満)の車道幅員4.0mを採用

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～整備内容の確認(矢羽根設置間隔)～

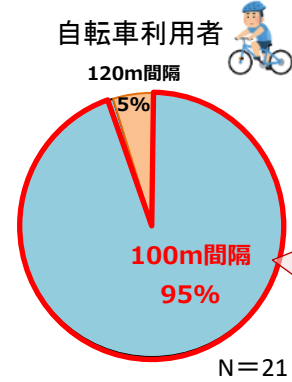
- ◎矢羽根整備区間の走行経験がある自転車利用者へのアンケート調査を行い、設置した100m間隔で問題がないことを確認。
- ◎ナショナルサイクルルート指定要件では、100m程度の間隔での矢羽根設置が推奨されている。
- ◎単路部での矢羽根の設置間隔を120m間隔→「100m間隔」に変更。

■実走行調査を通じた自転車利用者へのアンケート調査結果(R3.7実施)



伊比井潮風トンネル並行区間を含む往復約12kmを自転車で走行する実走行調査を実施 (R3.7)

Q. 矢羽根の設置間隔として、どちらの間隔(100m or 120m)が望ましいと思いますか。



9割以上は、「120mよりも100mの矢羽根設置間隔の方が望ましい」と回答

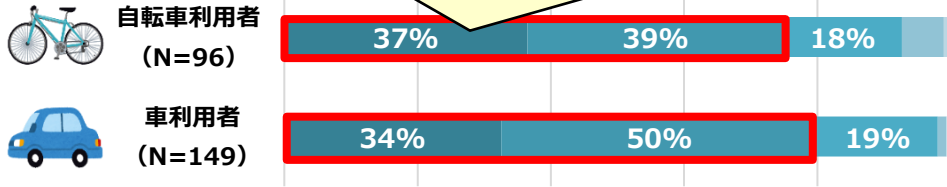
□ 自由意見の抜粋

- ・「100m間隔の方が分かりやすく、移動距離や前方との距離間隔が計測しやすい」
- ・「感覚として、120m間隔は長い」

■自転車・車利用者へのアンケート調査結果※1 (R3.5実施)

Q. 矢羽根の設置方針(単路部で100m間隔)について、当てはまるものをお答えください。

サイクリスト・ドライバーの約8割は「100m間隔での矢羽根設置で問題ない」と回答



■問題ない ■どちらかといえば問題ない ■どちらでもない ■どちらかといえば問題がある ■問題がある

※1: 100m間隔での矢羽根整備区間(伊比井潮風トンネル現道区間)を自転車or車で通行したことがある人を対象

■100m間隔での矢羽根設置の事例(太平洋岸自転車道)

郊外部において、100m程度の設置間隔で矢羽根が設置されている例
事例: 太平洋岸自転車道

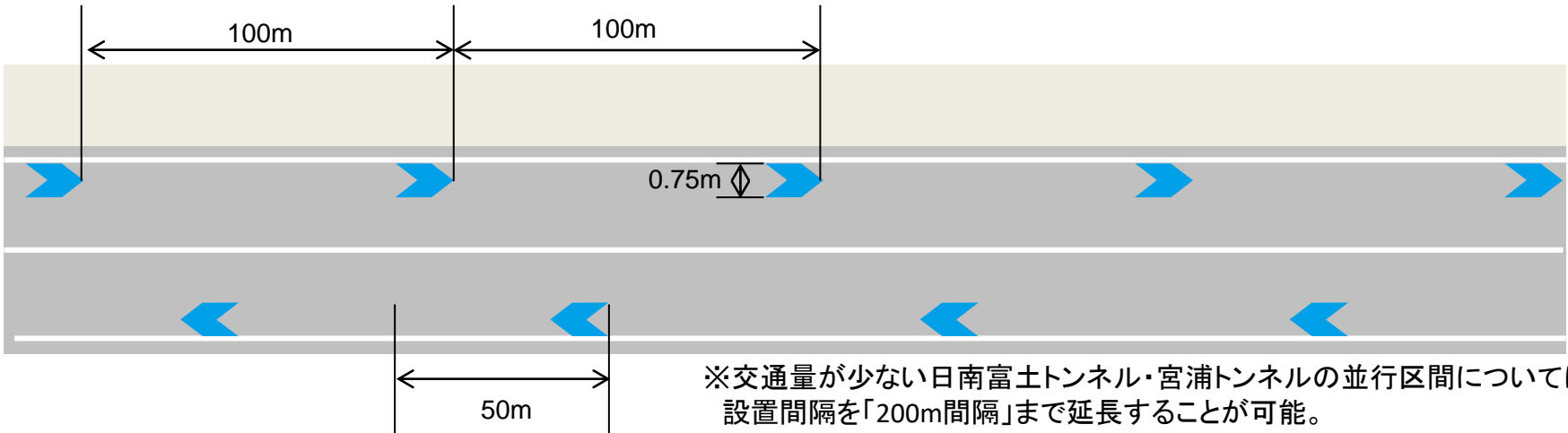


国交省が定めるナショナルサイクルルートの指定要件において、100m程度の間隔での矢羽根設置が推奨されている

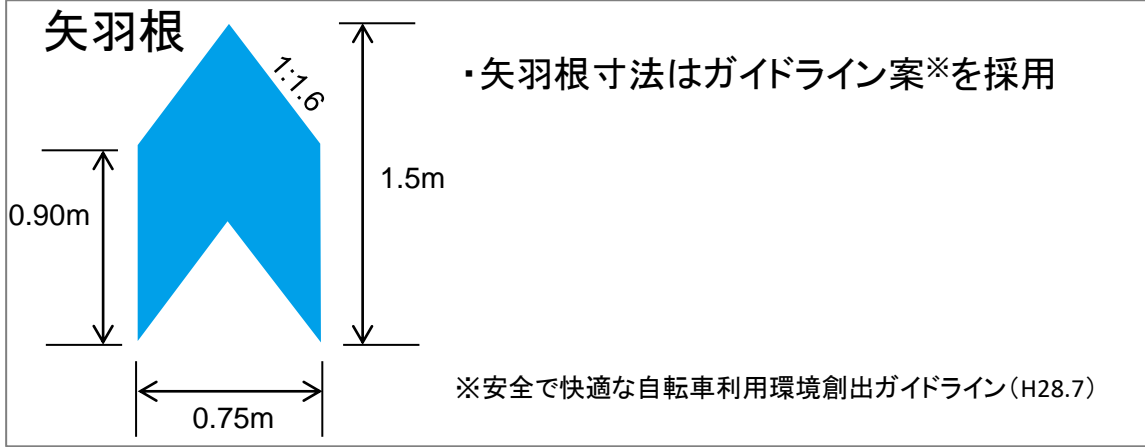
※出典: ナショナルサイクルルート指定要件(国交省HP)

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～整備内容の確認(矢羽根設置間隔)～

- ◎単路部では、矢羽根(W=0.75m)を「100m間隔」で「上下千鳥配置」で設置。上下千鳥配置により、ドライバーは50m間隔で矢羽根を確認することが可能。
- ◎交通量が少ない日南富士トンネル・宮浦トンネルの並行区間については、「200m間隔」まで設置間隔を延長することが可能。



※交通量が少ない日南富士トンネル・宮浦トンネルの並行区間については、設置間隔を「200m間隔」まで延長することが可能。



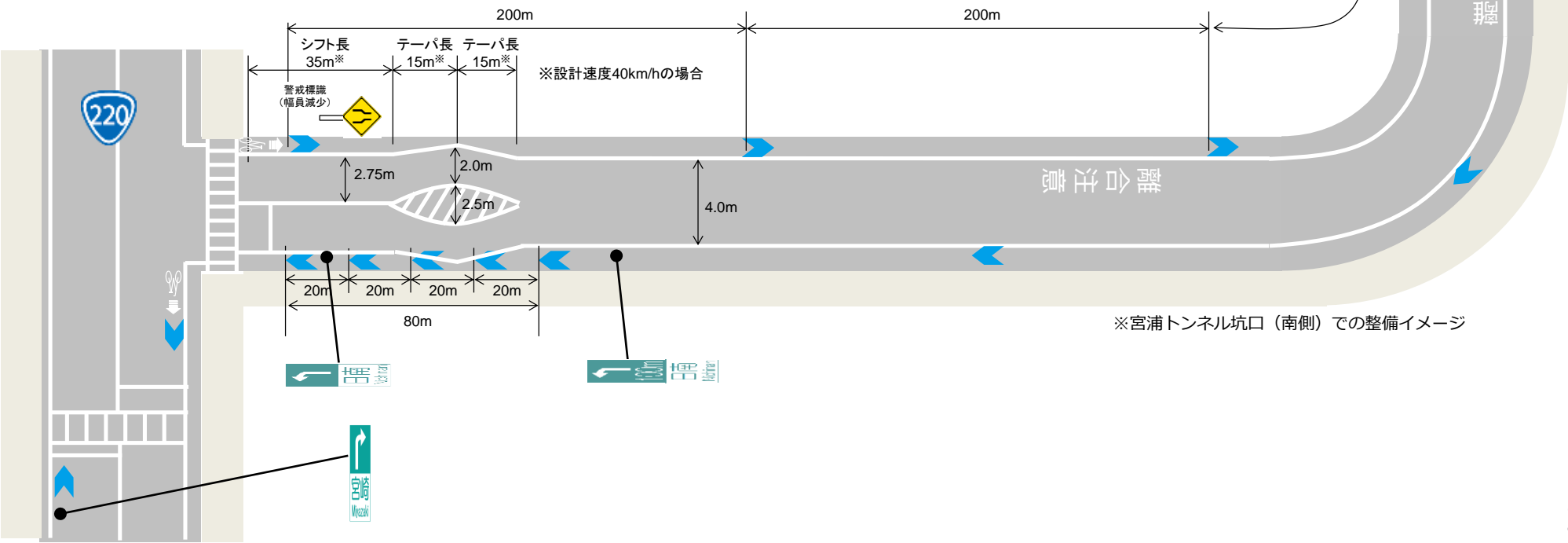
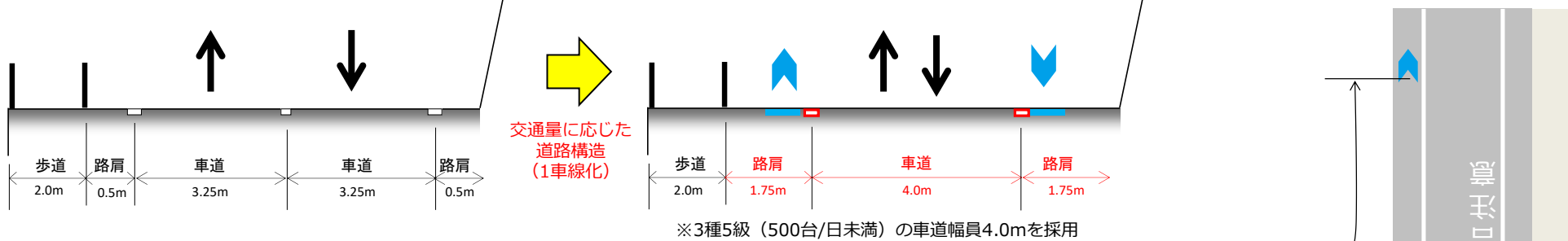
リブ付白線:クルマの車道外への逸脱を防止する(運転者への注意喚起)ことを目的に、危険性の高い区間で整備している。サイクリストにとっては走りにくいとの意見も聞かれるが、事故リスクの高さを考慮し、今後も安全対策としてのリブ付白線の整備は必要に応じて継続する。

※第5回協議会(R1.7)での掲示資料を基に編集

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～整備内容の確認(トンネル並行区間)～

- ◎ 交差道路やバス路線がなく、交通量が少ないトンネル並行区間については、交通量に準じ、3種5級区分(1車線化)により自転車通行空間を確保する。
- ◎ 2車線→1車線となる区間にゼブラ帯及び警戒標識を設置し、ドライバーに対しての注意喚起を実施。
- ◎ 交通量の少ない単路となるため、矢羽根設置間隔は200mとし、ドライバーを含めた安全対策も併せて実施。

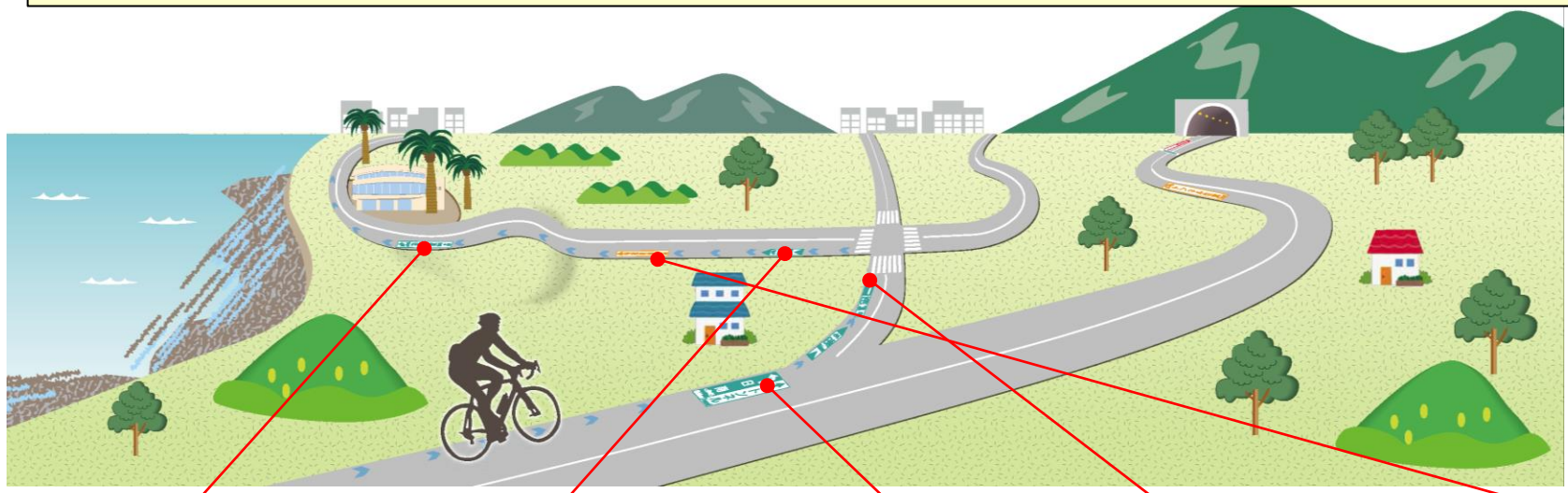
■ 交通量が少ないトンネル並行区間(日南富士トンネル、宮浦トンネル)



※宮浦トンネル坑口(南側)での整備イメージ

3. 令和3年度整備部会での検討結果 ～整備内容の確認(案内サイン・注意喚起サイン)～

◎サイクリングルートのご案内、危険箇所における注意喚起を目的に、距離標・主要観光地周辺・交差点部・分流部・危険箇所(勾配箇所、自歩道案内箇所等)を対象に案内サイン・注意喚起サインを設置。



自転車利用者からの意見をもとに日南海岸独自のシンボルマークをデザイン(距離標に表示)



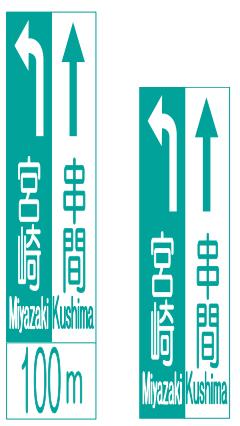
○観光地案内: 主要観光地を案内
設置箇所: 主要観光地手前(道の駅、青島神社等)【100m手前、直前】



○距離標: 主要市街地までの距離を案内
設置箇所: 主要ルート(国道220号等)【5km間隔】



○分流部: ルートが2つ以上分岐する分岐点において、それぞれのルート(行先)を案内
設置箇所: ルートが2つ以上分岐する交差点【100m手前、直前】



○交差点部(右左折部): 右左折が必要な交差点部において、右左折を案内
設置箇所: 右左折が必要な交差点【100m手前、直前】



○安全対策(自転車への注意喚起): 危険箇所があることをサイクリストに対して注意喚起
設置箇所: 急勾配部手前、自歩道部、幅員狭小箇所等



※第5回協議会(R1.7)での掲示資料を基に編集

3. 令和3年度整備部会での検討結果

◎整備計画に基づき、自転車通行空間及びルート案内サイン等の整備を進める。

- ・R4年度までに、宮崎市～日南市(風田交差点)を対象に優先整備を図る。
- ・R5年度以降に、次整備ルート(大堂津、南郷、串間、都井岬等)の整備を進める。
- ・宮崎市の市街地部については、既存の自転車ネットワーク計画の整備を進める。
- ・日南市の市街地部(DID地区)においては、ガイドライン※に基づく自転車活用推進計画を策定し、計画に基づく整備を進める。

◎「九州・山ロー周ルート」の整備方針を確認のうえ、NCR登録を見据えた調整を適宜実施(必要に応じて整備)。

※安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H28.7)

